



# 1 単元名 クルッ・ピン・ピタッ！目指せ回転王

(マット運動)

## 2 仮説に迫る手立て



手立て1  
課題を解決するための  
場づくり



手立て1  
単元を通して技に必要な感覚づくりの運動  
(ゆりかご、補助倒立ブリッジ、かえるの足打ち、川とび)

手立て2  
教師の声かけでグループの  
みんなと一緒に課題を意識

手立て2  
毎時間の課題を  
全員で把握

手立て2  
異質の3人グループで  
アドバイスをしあう



手立て2  
学習カードで次時の  
自分やグループの  
課題を見つける



## 3 成果

○三人組を作り補助とアドバイスの役割に分け、順番に行った。自分の役割が明確であり、それぞれのポイントをしっかり理解し合っていたので、的確な補助やアドバイスを送ることができた。また、話し合いも3人で行っているグループが多く、教師の問いかけにも3人で考える場面が見られた。

○授業の流れを一人一人が理解していたので、無駄なく運動量も多く取ることができた。